

～これからのまちづくり～ 後期基本計画を審査

平成26年2月定例会では「島田市総合計画に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成）を設置しました。市長から提出された議案に対し、7つの大綱を区分し、全体で98項目の質疑を行いました。その内容の一部を報告します。

大綱 1
都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

問 新幹線新駅の設置に向けて、市としての具体的な取り組みはあるか。

答 国・県に加え、今後はJR東海との協議を進め、周辺自治体と連携して県の活動を支援していく。

大綱 2
市民が安全・安心に暮らせるまち

問 高校生の自転車通学が大変危険であり、朝だけでも交通指導をお願いしたいがどうか。

答 高校生に道路交通法の改定を周知したり、警察が高校生約20人をサイクリストリーダールとして委嘱し、高校生自身が自転車による通学者を指導する取り組みも始めている。

大綱 3
産業がいきいきと活発なまち

問 「歩歩路」、「おび・りあ」など中心市街地活性化プロジェクトの取り組みを、どのように検証しているか。

答 公共施設と商業施設、居住施設が一体的に整備されたことによる交流人口の増加や、周辺駐車場の滞留時間の伸びから、中心市街地での回遊性に寄与することができたと考えている。



まちの活性化の拠点として期待のかかる「おび・りあ」周辺（本通三丁目）

大綱 4
だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

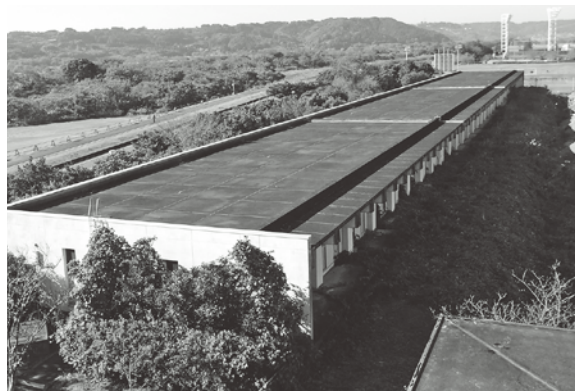
問 子育て環境の整備のため、潜在的な保育のニーズを把握し、適切な子育て環境整備の基礎データを確立する必要があるのでないか。

答 平成25年12月に実施したアンケート調査をもとに保育の見込み量、保育の量的拡大、確保の検討を行い、平成26年度に策定する子ども・子育て支援事業計画に反映させたい。

大綱 5
自然と共生する資源循環型のまち

問 再生可能エネルギーを今後どのような方法で積極的に導入していくか。

答 家庭、遊休地、公共施設の屋根を活用した太陽光発電システムの導入を進めるとともに、小水力、温泉



太陽光発電事業を行う浄化センター（南一丁目）

付随ガス等の導入に向けた調査・研究を進めていく。

大綱 6
人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

問 小・中学校の耐震工事計画は、どのようになっているか。

答 耐震基準値でランクIIの校舎14棟および屋内運動場3棟を、平成32年度末までにランクIの基準に適合させ、耐震化100%にしたいと計画している。

大綱 7
市民と行政がともに創る、活力に満ちたまちづくりの進め方

問 「政策・方針決定の場」への女性の参画の促進が入っていない理由は何か。

答 重要な取り組みの一つと認識するが、第2次島田市男女共同参画行動計画の中で、政策方針決定過程への女性の参画拡大を挙げている。

市民病院の経営及び建設に関する 特別委員会中間報告

委員長 富澤保宏

本委員会は、志太・榛原地域の二次保健医療圏域内における医療機関相互の連携強化や、医師および看護師の確保などを含めた病院経営および今後の地域医療のニーズに的確に対応できる新病院の建設に関する調査研究のため、平成25年7月9日、議長を除く19人の議員で設置されました。経営・運営分科会の副委員長として藤本善男議員、建設・財政分科会の副委員長として八木伸雄議員が中心となり9人ずつの分科会を立ち上げ、活発な議論を行ってきました。現在までの間、全体会を6回、分科会を12回開催しました。経営・運営分科会においては今後の調査研究課題として5項目を確認し、建設・財政分科会では、市長へ以下の提言を行いました。

1. 求められる病院像について（市の財源、医師の確保）
2. 建設場所について（交通アクセスと駐車場スペースの確保）
3. 規模・病床数について（将来的な人口動態に即した規模とすること）
4. 予算・財政について（将来にわたっての負担軽減を）
5. 計画の行程について（市民への説明）

以上、市当局に提言することとしました。

引き続き、市民病院の経営および新病院の建設について、調査・研究を行っていきます。



議長から市長へ提言書を提出
（平成26年3月27日）

意見書2件を採択しました

議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。2月定例会では次の2件の意見書の提出について可決し、国会および関係行政機関に送付しました。

- **リニア中央新幹線建設に伴う大井川河川流量減少予測への対応に関する意見書**
- **消費税の軽減税率適用を求める意見書**

※提出した意見書の全文は、市議会のホームページまたは市役所の情報公開コーナーをご覧ください。

ザツ討論

賛成
↕
反対
結果は採決結果一覧のとおり

2月定例会では、議案4件に対し、4人の議員が討論を行いました。

その概要を報告します。討論とは、議案等を探

決するに当たって、賛成または反対の意見を述べ

○簡易水道事業給水条例の一部改正

反対

川根地区の簡易水道料金を島田・金谷地区と同

一にするための引き上げに反対する。簡易水道は規模が小さいので、多くが中山間地や過疎地に設置され、採算ベースに乗らない事業だ。合併して料金を高い方に合わせるのでは、サービスの後退だ。また、4月からは消費税8%分も上乗せで、市民負担はさらに増え、容認できない。

賛成

本議案は、地方自治法ならびに水道法に規定さ

れる同一料金の原則および旧川根町との合併協定事項により、簡易水道料

金を統一しようとするものである。また、簡易水道事業特別会計は、一般会計からの繰入金金を財源としており、給水区域外の市民との公平性、受益者負担の原則からも川根地区と島田地区の料金を統一することは適切と考

○H26年一般会計予算

反対

4月からの消費税8%増税に伴い、本来自治体は納税義務者ではないのに、市の公共施設の使用料に消費税を上乗せすることは容認できない。また、行政改革の名のも

とに、市職員の退職不補充や非正規職員化および公立幼稚園・保育園の民営化を進めることは容認できない。

賛成

消費税率および地方消費税の引き上げは、国の重要施策として、国民に広く、薄く、公平に税負担を求め、少子高齢化時代への対応や地方分権に伴う財源確保を図るため

やむを得ないものと考えらる。よって、今回の使用料等の引き上げは、本市財政における収入、支出の均衡を保つために必要であると認め、本議案に賛成するものである。

○H26後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

保険料の見直しの結果、所得割率、均等割額とも引き上げた。軽減対策は

あっても、基礎年金者や現役並みの所得者は負担が増える。75歳以上の高齢者を別枠の医療制度に

賛成

今回の当初予算は、静岡県後期高齢者医療広域連合議会において、後期高齢者医療制度を適正に執行するために十分審議

された内容である。また、保険料率の改定も、被保険者数の増加などにより医療費が大幅に伸びると予想される中、支払準備基金の取り崩しによる財源確保など、高齢者の負担軽減に極力配慮され

た内容であることから賛成するものである。

反対

施策の重点プロジェクトとして、新幹線新駅の実現や旧金谷中学校跡地周辺に県の構想に合わせた施設の誘致を図る内容があり、これ以上地元負担、県民負担を増やす取

り組みには反対だ。また、職員の4割が非正規職員であり、業務の民間委託・民営化で、安上がりの雇用を拡大している。公

務労働の後退の中で計画推進に反対する。

後期基本計画は、市民意識調査やタウンミーティング、ゆめ・みらい百人会議の意見を盛り込むとともに、当市の行政運営上の課題を的確にとらえ、市民と行政が寄り添った計画となっている。ただ市においては、本計画の進捗状況を積極的に公表すること、成果を重視した行政運営に取り組まれることを期待し、本議案に賛成する。

賛成

採決結果一覧（賛成・反対が分かれた4議案を掲載）

| ○=賛成 ×=反対 | | 島田市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例 | 島田市一般会計予算 | 平成26年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算 | 平成26年度島田市基本計画 |
|---------------------------|--------|-------------------------|-----------|--------------------------|---------------|
| ◎会派名 無会派 =会派に属さない議員 | 氏名 | | | | |
| | 横田 川真人 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 伊藤 孝 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 山本 孝夫 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 森 伸一 | ○ | ○ | ○ | × |
| | 河原崎 聖 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 福田 正男 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 紅 林 貢 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 村田 千鶴子 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 曾根 嘉明 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平松 吉祝 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 仲田 裕子 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 富澤 保宏 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 大石 節雄 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 清水 唯史 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 藤本 善男 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 八木 伸雄 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 青山 真虎 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 杉野 直樹 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 桜井 洋子 | × | × | × | × |

※議長（佐野義晴）は、採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順）

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

だいひょうしつもん

代表質問

後期基本計画の目指すもの



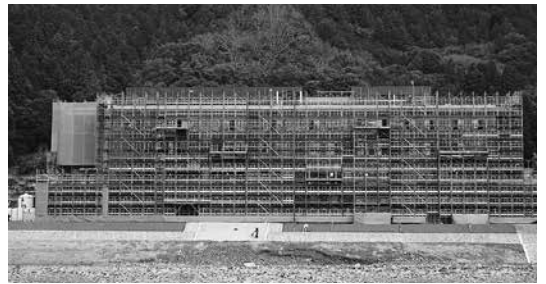
○新風 紅林 貢 議員 (一問一答)

問 前期5カ年の評価を後期基本計画にどう生かしていくのか。

答 昨年実施した住民意識調査の結果を市民目線による前期計画の評価ととらえ、この結果を後期基本計画の中で重点プロジェクトに反映しているタウンミーティングの意見や、ゆめ・みらい百人会議の提案を取り入れるなど、市民意見を尊重した計画としており、今後4年間で着実に事業を実施していく考えである。

問 後期基本計画では一部事業において事業仕分けを実施するとされている。事業仕分け

川根地区の にぎわいを願う 劣化が進んでいる川根温泉バーテ棟の改



建設中の川根温泉ホテル

築は予定しているか。

答 劣化状況を調査し、改修計画を26年度に取りまとめをしていく。

問 私たち党派「新風」

は、山形県上市市へ温泉を利用した滞在型の健康保養地への取り組みや、ハイキングコースを設定した市民の健康づくり交流人口増加の取り組み等について視察してきた。川根地区でのにぎわいづくりにどう取り組むのか。

答 川根地区にあるいろいろな施設等を活用し、健康増進、にぎわいづくりに努めていきたい。

平成26年度 施政方針を問う

○創造島田 藤本善男 議員 (一問一答)



問 後期基本計画の計画期間を5年から4年へ短縮した意義とは何か。

答 急速に変化する社会情勢への的確な対応、市民ニーズを反映した施策展開が実現できる。

問 短期間で市長の思いは計画に反映できたか。

答 最大の努力で計画に盛り込んだつもりだ。 問 新規事業の自治基本条例制定への思いは。

答 市民とともにつくるまちづくりの基本にとらえていきたい。

新病院はいつに 建てるのか？

問 基本構想策定に向けた市の体制は。

答 市と市民病院幹部の意見交換を継続し、構想を策定する考えである。

問 建設地決定はいつか。

答 基本構想で、複数の候補地の中から決定する。

問 病床数について、どう考えているか。

答 前回の構想では350床だったが、近隣病院の動向を勘案し、適正規模を考えた。 問 建設候補地は何箇所示すのか。

答 建設可能な敷地面積の箇所を複数選定し、法令条件を検討し決定する。 問 市民からの意

見の集約状況を教えて欲しい。

答 9人から33件の意見が出された。

問 市民には病院建設の進捗状況が正しく伝わっていないと感じる。病院建設への市長の思いを聞かせて欲しい。

答 さまざまな機会です。必ず病院の話はしている。当初広域化を考えたが、施設劣化などにより、施設としての連携は次の段階と認識している。市民アンケートでも最重要課題であり、私にとっても第一の課題である。



新病院基本構想策定中の市立島田市民病院

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

個人質問

これからの島田市

財政の見通しは？



やまもとたかお
山本孝夫 議員
(一問一答)

問 後期基本計画案が示されてこれからの人口減少による税収減、高齢化による民生費増、合併算定替による交付税減、新病院の計画等、財政面の諸問題が山積する中、財政健全化判断の指標は今後どうなっていくのか。また、25年度末の指標の見込みはどうか。

答 経常収支比率は前年度より数値は上がり、将来負担比率は下がると考えられる。財政力指数は0.750となる。

問 29年度までの指標の目標値は幾つか。

答 経常収支比率は

90%以下、将来負担比率は50%以下、財政力指数は0.750よりも下げないことを目標とする。

問 税収を確保するために市独自で税率を増やす考えはあるか。

答 現在、考えはない。

問 財政評価はどうするか。

答 第三者評価の導入は、将来的に検討したい。

別表 H20年度～H24年度は実績値 H25年度は見込み値 H26年度～H29年度は目標値

| 主な財政指標 | ※0 | H20 計画前 | H21 前期 1年目 | H22 前期 2年目 | H23 前期 3年目 | H24 前期 4年目 | H25 前期最終 年度 | H26～H29 後期1年目～ 後期最終年度まで 各年度の目標値 |
|---------------|----|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|--|
| 経常収支比率(%) | ※1 | 91.2 | 89.5 | 85.6 | 87.9 | 89.8 | 89.8より 上がる | 90以下 |
| 将来負担比率(%) | ※2 | 119.9 | 100.2 | 87.0 | 68.6 | 51.5 | 51.5より 下がる | 50以下 |
| 財政力指数3カ年平均(%) | ※3 | 0.811 | 0.813 | 0.793 | 0.766 | 0.751 | 0.750 | 0.750より 下げない |

※1：新しい問題に対応できるだけの余裕があるか財政構造の弾力性を示す指標。100に近いほど余裕がなくなる。
 ※2：将来の年度で負担すべき借金や退職金、赤字分などをまとめて、市の財政規模と比較した割合。低いほど負担が軽い。
 ※3：過去3年の平均値を取る。自治体の財政収入額がどれだけあるか豊かさの程度を示す指標。多くの自治体が1以下で普通交付税を受けている。
 ※0：この他にも財政を見るいろいろな指標があります。
 ※前期とは前期基本計画、後期とは後期基本計画の略である。

今後の大井川 マラソンはどうなる？

問 改善点はあるか。

答 市民を優先した早期エントリー受付を実施したい。

問 もっと市街を長く走る工夫ができないか。

答 7丁目まで経由して西進させる市街部コースの延長を検討中である。

原発！ 渇水!! 市長選挙公約！ 大鐵!!

あおやまさとら
青山真虎 議員
(一問一答)



問 市長の選挙公約と実際の事業の整合として、公約達成率は公表するか。

答 今は公表しない。

問 選挙中「借金は悪」というような発言が目立ったが。

答 悪とは言っていない。手法が問題と言った。

問 合併特例債を利用してでもやるべき事業がある。老朽化した市役所、使用中止の市民会館、これらをどうす

るのか。

答 病院を優先したい。並行して考えるべきだ。合併特例債の期限も迫り使わなければ、財政上建て替えは厳しい。

問 今後やらなければという考えはあるか。

答 今後への責任が問われている

問 浜岡原発に対する市としての態度は。

答 再稼働すべきでないと考ええる。

問 原発事故が起きた場合の避難計画はあるか。

答 計画はない。

問 ヨウ素剤の配布について、子ども達が無用な被爆を被らないよう配布基準を設けるべきでは。

答 具体的な仕組みを準備しておく必要がある。

問 リニアの影響で大井川が渇水することは「重大な懸念」と市長は述べたが、そうであれば事業の凍結あるいは中止を求めていく必要があるのでは。

答 渇水の対策をしてもらうべく静岡市と県に要望書を提出した。

問 大井川鐵道への支援は今後どのようになるか。

答 3月下旬に協議会を行う。今後の課題だ。

問 市民の熱い思いが地域の問題を解決する。当局の力も借りてうねりを引き出したい。

答 それぞれできることをやる。それが最善策である。



友人からもらったメモ
市民にもリニア事業に対する不安が広がる。大井川の水に問題が出たら、企業誘致や定住促進どころではない。現在、島田市が抱える最大の懸念事項だ。

こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

茶業を元気に！



なかだ ゆうこ
仲田裕子 議員
(一問一答)

問 茶業を元気にする施策はあるか何う。

答 茶園基盤整備に精通した専門職員を雇用し、金谷の切山地区・西原地区をモデル地区とした茶園の区画整理の事業化を県や大井川農協等と協力し、積極的に支援する。

問 以前市長は、農業従事者と定期的に話し合い、その中から活路を見出すと述べたが、活路は見出せたか何う。

答 定期的ではないが話している。また、経営複合化モデル事業として、3戸以上の茶専業農家が組織する団体に、他の作物栽培を始めるための補助金を出し支援する。

金谷地区の道路整備の充実を

問 横岡新田牛尾線の今後について何う。

答 平成26年度に車道の供用を開始する。五和保育園から富士食品入り口までの拡幅改良は、平成28年度完了予定である。

問 島竹下線の大井川鐵道との合意と進捗は。

答 合意は煮詰まっていな。現在4メートルの道路を12メートルの道路にする計画で平成26年度から整備を始める。



菊川神谷城線の变形したままの道路(神谷城保育園周辺)

問 菊川神谷城線は、旧金谷町の時、突然と予算が消えた。当時の説明は、横岡新田牛尾線完成後の平成23年に予算を戻すとの答弁であった。現在、神谷城保育園付近は変形した道路のままである。今後の対策を何う。

答 この道路は緊急輸送路に位置付けられている重要な路線であるため、平成28年度から工事を着手する予定である。

※ その他、障害者支援事業の一層の充実について質問した。

市の仕事は市内業者優先に!!



ふくだただお
福田正男 議員
(一問一答)

問 市内の企業の育成発展には、市内業者に優先的に仕事をしてもらう必要がある。例えば、平成24年度の実績は、市の発注金額約38億円のうち、市内業者が約22億円で58%、市外業者が約16億円で42%である。物品の場合も契約金額約4億円のうち、市内業者が1億2900万円で約3割、市外業者が2億9000万円で約7割を占めている。この理由

は何か。

答 平成24年度は、川根温泉ホテル建設工事の発注等、物品もデジタル防災通信システムの整備等を市外業者に発注したことが大きな要因である。

問 我々は、市民から大事な税金をいただいている。その税金を市民や企業にお返しする必要がある。市の仕事を増やしてあげれば、誇りを持って仕事ができ、子どもや孫に胸を張って引き継ぐことができる。それが、人口減少の歯止めにもなり、定住人口の増加、雇用の創出、将来の税収の増加につながっていくのではないかと考える。優先的に市内の業者を使っていくことはできないか。

答 できる限り市内の業者を優先という姿勢は変わっていない。

問 リバティの沿道は雑草が生い茂り、大変危険で景観も悪く環境上もよくない。2020年を目途に整備し、花を植え、花壇を作ってはどうか。

答 今後検討したい。

東京五輪のマラソン合宿地にどうか



東京オリンピックのマラソン合宿に利用が期待されるリバティ

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん こじんしつもん

市の減災に対する 備えは万全か



すぎの なおき
杉野直樹議員
(一問一答)

問 大地震発生時、市、自治会、消防、消防団はどのように連携をとるのか。

答 市、消防、消防団は災害対策本部にあつて、情報収集や災害対応に当たる。自治会、自主防災組織は、市職員や消防団員と連携して、要援護者等の安否確認や避難誘導、避難所の運営等に当たる。

問 自治会はそれぞれ違う環境で点在しているため、地域に合った防災・減災活動が必要である。震災時、どのような動きをすればよいか、連携してコミュニケーションをとる必要があると思うがどうか。

答 自主防災会が地元

の課題は何なのか。コミュニケーションして、自主防災会、消防団、民生委員が日頃から連携を図ることが大切である。

問 合併前、金谷地区では、消防団の招集のために同報無線を使っていた。同時に、それなりに火災・災害の状況を周知してきたが、合併後、同報無線を使わなくなった理由は何か。

答 現在、消防団の招集は携帯メールを使っているため、緊急時のお知らせ以外の用途では使っていない。災害時は同報無



大井川水系 長島ダム 総貯水容量 7,800万㎡

線も含め、さまざまな手段でお知らせをする。

問 大規模地震発生時、大井川水系に点在するダムにはどのような被害が予想されるのか。

答 ダムに被害が発生する想定はしていない。

問 4月から設置される危機管理部では、さまざまな角度から今まで考えてもみなかった災害被害を想定して対策を講じていただきたいがどうか。

答 そのような思いから、危機管理部を設置する。

防災リーダーの育成を進めよう

かわらざき きよし
河原崎 聖議員
(一問一答)



問 地域の防災力を向上させるためには、防災リーダーの育成が不可欠である。市では、25年度に防災リーダー養成講座を開催し、42人のふじのくに地域防災指導員を誕生させ、各地の自主防災組織で活躍してもらう予定になっている。また、国レベルでは日本防災士機構が認定する防災士、県レベルでもふじのくに防災士という制度があり、地域や職場の防災

リーダーの発掘・育成が図られている。ふじのくに防災士養成講座の受講料を補助する考えはないか。

答 ふじのくに防災士養成講座の受講料補助については、地域の推薦を条件に検討したい。

問 地域の防災力向上のためには、資格を持つ人ばかりでなく、広く防災に関心のある人に参加してもらい、相互に情報交換と切磋琢磨の場となるような防災リーダーのネットワークづくりを進めるべきではないか。

リーダーや防災に関心のある方たちが一緒になって、島田市の防災力向上に尽力していただけるのはありがたいことだ。また、防災士も事業継続計画、女性の視点、地域の自主防災組織、消防経験など、それぞれ得意とする分野があるので、そうした専門性を生かすような形でネットワークが立ち上がることを期待している。ただ、これは市民主導で進めるべきことなので、側面からの支援を強力に行いたい。

答 防災リーダーのネットワークについては、県の防災士会の支部という形で、静岡・焼津などで防災士会が立ち上がっているが、防災士に限らず、地域防災リ



地域防災リーダー養成講座の様子

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



国土地理院より取り寄せた日本全図

東北へ支援の継続を



よこたがわまさこ
横田川真人 議員
(一問一答)

問 東日本大震災から3年である。支援の状況は。

答 発災当初は物的支援もあるが、現在は職員を派遣している。

問 これからの支援の予定は。

答 南相馬市に職員を1人、1年間派遣する予定である。

地図から学ぼう

問 学習指導要領に沿った教材を選んでいるか。

答 日本の領土の指導をしている。

問 使用中の教科書に領土に関する記述の不足が見られるがどうか。

答 補助教材とも合わせて指導するので問題ない。

農地には

住めない？

問 国土地理院発行の地図を市内学校に掲示しないか。

答 日本の国土の認識を深めるためには、よい考えたと思う。

問 農地の転用はやはり難しいのか。

答 法令は守る。

問 市の窓口で多少の融通はできないか。

答 農地を守る立場上、農地の復元が基本である。

問 田舎に住みたい人もいる。その中には農業をやりたい人もいるかもしれない。

答 正式な手続きを踏むか、小作という形もある。

病院の基本構想を問う



やぎのぶお
八木伸雄 議員
(一問一答)

問 市民病院建設は、場所を変更するだけでなく、構想までも見直すのか。

答 医療をめぐる環境が変化している。構想を見直さなければならぬ。

問 関係者は、一日も早い建設を望んでいる。計画を見直し、どのような病院を造ろうとするのか。

答 場所、規模など、具体的な内容については基本構想で示していきたい。

たい。

問 平成21年の基本構想では、多くの学識経験者などの提言を受けた3年を要した。今回は2カ月だけで十分な調査・計画策定ができるのか。

答 コンサルタントには短期間で可能と確認した。

問 当該コンサルタンとは業界との太いパイプがあり、設計事務所やゼネコンのベースになる恐れがある。市の求める病院像を明確に示すべきでは。

答 基本構想策定を進める中で協議していく。

問 構想の中で病院の規模が示されるが、病院会計で返済可能額は幾らか。

答 新たな借り入れを起こさなければ、年8億5千万円くらい返済できる。



まだ新しい救急センターと健診センター

問 人口減少や医師の確保を考えればその返済額が上限だ。平成21年の基本構想では、一般病棟350床、療養35床だが、市はどのように考えるか。

答 基本構想で決定し、開業までに体制を整える。

どうなる川根温泉

問 川根温泉ホテルの指定管理者が地元の川根町温泉でなく、市外の民間業者で観光を主体に提案している。日帰り温泉と競合しないのか。

答 できるだけ多くの市民と観光客の両方が利用するホテルとし、両施設がタイアップして運営してもらう考えである。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

こじんしつもん

大井川鉄道減便対応はいかに



清水唯史 議員
(一問一答)

問 大井川鉄道と島田市、川根本町、静岡市、静岡県、中部陸運局(オプザバー)が参加して設置される協議会の目的は。

答 地域公共交通としての大井川鉄道の存続および運行の確保に関する対応策ならびに地域活性化策の調査を協議する。

問 大井川鉄道への支援の実績は。

答 国・県は地域公共交通確保維持改善事業として施設の更新経費を補助している。島田市は崩落事故などの緊急保全整備事業やSLS転車台整備、SLSフェスタのイベント開催などで支援している。

問 減便に対して対応

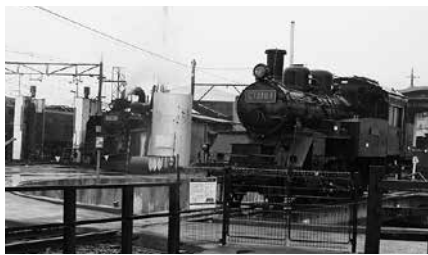
は、どのようにするか。

答 影響の大きい小・中学生の対応として、金谷地区では午後4時台と5時台に定員10人を超える車両で対応し、川根地区は公用車の活用を考える。特別日課には柔軟に対応をしていく。

問 広域的な誘客の取り組みはしているか。

答 平成26年度から焼津市、藤枝市、川根本町と広域観光連携協議会を設立し連携しながら、国内外からの観光客誘致・プロモーション事業、調査研究事業を展開する。

観光施設の連携と市内誘客を!



公共交通としての使命を担う大井川鉄道

問 誘客策として大祭、茶まつりなどの島田の伝統を常時PRするための「まつり会館」を、中心市街地の施設を活用して常設できないか。

答 利用施設の検討、博物館の改修などにより、「まつり会館」は考えることはできる。市民と一緒に考えていきたい。

『ふるさと納税』を増やすには?

伊藤 孝 議員
(一問一答)



問 ふるさと納税(寄附金制度)の反省点は何か。

答 PR不足が一番の課題であったと感じている。

問 来年度に向けての取り組みに変更点はあるのか。

答 ふるさと寄附金をしていただく方を増やしていく。

また、島田の地産品や島田の特産品など、いろいろなことを市内外の方に知っていただ

くためにも、今回大きくふるさと寄附金については改善したいと思っている。

防災時の備えは?

問 12月の地域防災の訓練に多くの中・高校生が参加してくれたが、参加人数の割に中・高生の行う訓練が少なかったと思う。中・高校生が積極的に参加できるプログラムを用意しておくべきだと思うがどうか。

答 プログラムを用意するのが市側なのかどうか。中・高生たちには企画に加わってもらう。企画の段階から入ってもらえれば、自主性を持って防災訓練にも自らの使命を果たすことができるのではないかと思っている。

問 ライフラインの上水道の備



12月防災訓練の様子

えは万全か。

答 南海トラフで発生する地震の被害から、現状の95%までの復旧には上水道は5週間程度かかる。

問 市内では簡易水道を含む島田市上水道、大井上水道企業団、静岡県大井川広域水道企業団が水道水を供給しているが、災害時に相互融通できる接続をすべきではないか。

答 早急に耐震性のある水道管への更新を行っている。接続については、もう少し時間がかかる。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



民営化が進められる「かわね保育園」

問 UPZ（緊急時防護措置準備区）31キロメートル圏内の5市2町と県、中

浜岡原発は永久停止・廃炉に

答 今後は初倉小学校区、六合小学校区、増設と未設置の川根小学校区への整備も検討していく。

問 保育園の平成26年4月見込みの入所率は、公立保育園が28人、1歳児2人、2歳児1人だ。受け入れに余裕のある保育ママや保育士確保が可能な保育園に受け入れを要請していく。

問 放課後児童クラブを増設すべきだ。平成26年度は六合東小学校区に増設する。

保育園や児童クラブの待機児解消を



桜井洋子 議員 (一問一答)

部電力とで取り交わす予定の「安全協定書」の中に、立ち入り検査、事前了解、損害賠償条項を入れるべきだが、市長の見解は。

問 安全協定については、5市2町が足並みをそろえてやっていきましようという合意はできた。自身は今後詰めていく。市長の私としては、立ち入り調査やそういったものは加えていきたい。

問 浜岡原発は、東海地震の震源域の真上に建ち、世界一危険な原発だ。市長は、浜岡原発の廃炉を内外に宣言すべきでは。

答 次の世代に負の遺産を残してはならない。浜岡原発の再稼働は認められない。廃炉については、今すぐは無理でも期限を切って、そこに向けて努力していくことは必要だ。

海軍牛尾実験所跡遺跡の今後は

森伸一 議員 (一問一答)



問 今後の掘削作業の工程、特に遺跡部分に掘削は。答 掘削作業は進めるが、遺跡部分は今年の末まで手をつけたい。



発掘された牛尾実験所跡遺跡

問 現在、平和宣言を策定中であるが、この時期に発掘された戦争関連遺跡なので市民のために多めに活用すべきと思うが市長の見解は。答 現場の安全管理が一番の課題であると思う。国交省に意見を伺いながら、何回か見学会ができないか、私からも国交省に要望を伝えたい。

スポーツ施設と観光・集客

問 田代の郷陸上競技場の工事が中断しているが、どのような見直しを考えているか。答 現時点で具体的な計画は作っていない。

問 当初の目的外の利用は可能か。答 田代の現状は総合計画に載せていた健康福祉ゾーンとしての位置付けも変わってきているので、白紙に見直ししたい。

問 市内のハイキングコースについて、コミュニティバスを利用する方法などの宣伝をし、利用者を増やしたらどうか。答 ハイキングコース(11カ所)を特集したマップを作っており、そのマップには全てコミュニティバスのバス停を掲載し、利用の促進を図る。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。